

8月29日実施

令和3年度総合防災訓練 ～家庭での防災の備え～

今年度の防災訓練については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、感染症対策を徹底した上で各家庭での訓練を実施していただくようお願いします。一人ひとりが正しい防災知識を身に付け地域の防災力を高めるために、次のとおり家庭内での訓練に取り組んでください。

① かながわシェイクアウト訓練

8月29日午前9時に地震が発生したという想定でサイレンを鳴らします。サイレンが鳴ったらその場で「1:DROP! (まず低く!)、2:COVER! (頭を守り!)、3:HOLD ON! (動かない!)」の安全確保行動をとってください。



② 住宅用火災警報器の点検・確認

火災の早期発見のため、自宅に設置されている住宅用火災警報器を点検しましょう。

- ① 設置年月日を確認してください（設置から10年以上経過している場合は交換を検討しましょう）。
 - ② ブザー等が鳴るか点検をしてください（反応がなければ、本体の故障か電池切れです。警報器本体か電池を交換しましょう）。
- ※ 点検方法は機種により異なるので、不明な場合は取扱説明書を確認するか、メーカーにお問い合わせください。



③ 『災害用伝言ダイヤル(171)』の体験利用

災害時の安否確認手段となる『災害用伝言ダイヤル』を試してみましょう。

[メッセージの録音手順]

- ① 「171」に電話をかけます（音声による説明が流れます）。
- ② 「1」を押します。
- ③ 電話番号を市街局版から入力します。
- ④ もう一度「1」を押してメッセージを録音し、「9」を押して終了します。

[メッセージの再生手順]

- ① 「171」に電話をかけます（音声による説明が流れます）。
- ② 「2」を押します。
- ③ 録音手順③で入力した電話番号を入力します。
- ④ 「1」を押すと、録音手順④で録音したメッセージが流れます。

※災害用伝言ダイヤルとは？



大規模な災害が発生して電話がつながりにくい場合に利用可能となる、電話を用いた伝言板の役割を果たすシステムです。災害時以外にも、毎月1日及び15日、防災週間（8月30日～9月5日）などの期間にはどなたでも体験利用ができます（※災害が発生した際には体験利用できない場合があります）。

（裏面へ続く）



④ 備蓄品等確認

発災時に必要となる非常持ち出し品・防災グッズ等の点検・確認をしましょう。
※ 以下の物は一例となります。各人が最低3日間は自力で生活できるよう、
自分や家族の状況に合わせていろいろと工夫してみてください。

一次(非常)持ち出し品

○避難の際に持ち出し、避難場所で使用するものです。発災時にすぐに持ち出せるよう、リュックなどに入れて置いておきましょう。

- 防災ずきん／ヘルメット
- 手袋／軍手
- 運動靴／厚底の靴
- 飲料水
- 非常食（最低1日分）
- 携行食（ビスケット・飴等）
- 現金（小銭）
- 救急医薬品・常備薬
- 健康保険証・運転免許証・預金通帳
- 携帯電話・充電器・バッテリー
- ティッシュ・ウェットティッシュ
- 着替え（下着・靴下）
- レインコート・防寒具
- 懐中電灯
- 各種乾電池
- タオル
- ゴミ袋・ポリ袋



二次持ち出し品

○避難した後に安全確認ができてから避難所へ持ち出したり、または自宅での避難生活を送る上で必要となるものです。

- 飲料水（一人1日3リットル）
- 食料3日分（できれば7日分）
- 給水用ポリタンク
- 簡易トイレ／携帯トイレ
- トイレトーパー
- 救急セット
- LEDランタン
- ローソク
- アルミホイル・食品用ラップ
- 防水ビニールシート・ブルーシート
- カセットコンロ・燃料
- バール・シャベル・ツルハシ
- ホイッスル
- ロープ
- カイロ／簡易防寒具
- 脚立
- その他（ ）

※ 以下は、避難所での感染症予防に有用となるものです。一人ひとりが可能な範囲でご準備頂きますようお願いいたします。

- マスク（予備含む）
- フェイスシールド
- 携帯スリッパ
- 体拭き用ウェットタオル
- 使い捨てビニール手袋・ゴム手袋
- 手指用消毒薬
- 体温計
- ビニール袋／ポリ袋（マスク等保管用）